

自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律の一部を改正する法律案要綱

第一 危険運転致死傷罪の対象となる行為の追加

次に掲げる行為を行い、よつて、人を負傷させた者は十五年以下の懲役に処し、人を死亡させた者は一年以上の有期懲役に処するものとする。 (第二条関係)

一 車の通行を妨害する目的で、走行中の車 (重大な交通の危険が生じることとなる速度で走行中のものに限る。) の前方で停止し、その他これに著しく接近することとなる方法で自動車を運転する行為

二 高速自動車国道 (高速自動車国道法 (昭和三十二年法律第七十九号) 第四条第一項に規定する道路をいう。) 又は自動車専用道路 (道路法 (昭和二十七年法律第八十号) 第四十八条の四に規定する自動車専用道路をいう。) において、自動車の通行を妨害する目的で、走行中の自動車の前方で停止し、その他これに著しく接近することとなる方法で自動車を運転することにより、走行中の自動車に停止又は徐行 (自動車が直ちに停止することができるといふ速度で進行することをいう。) をさせる行為

第二 附則

この法律は、公布の日から起算して二十日を経過した日から施行するものとする。